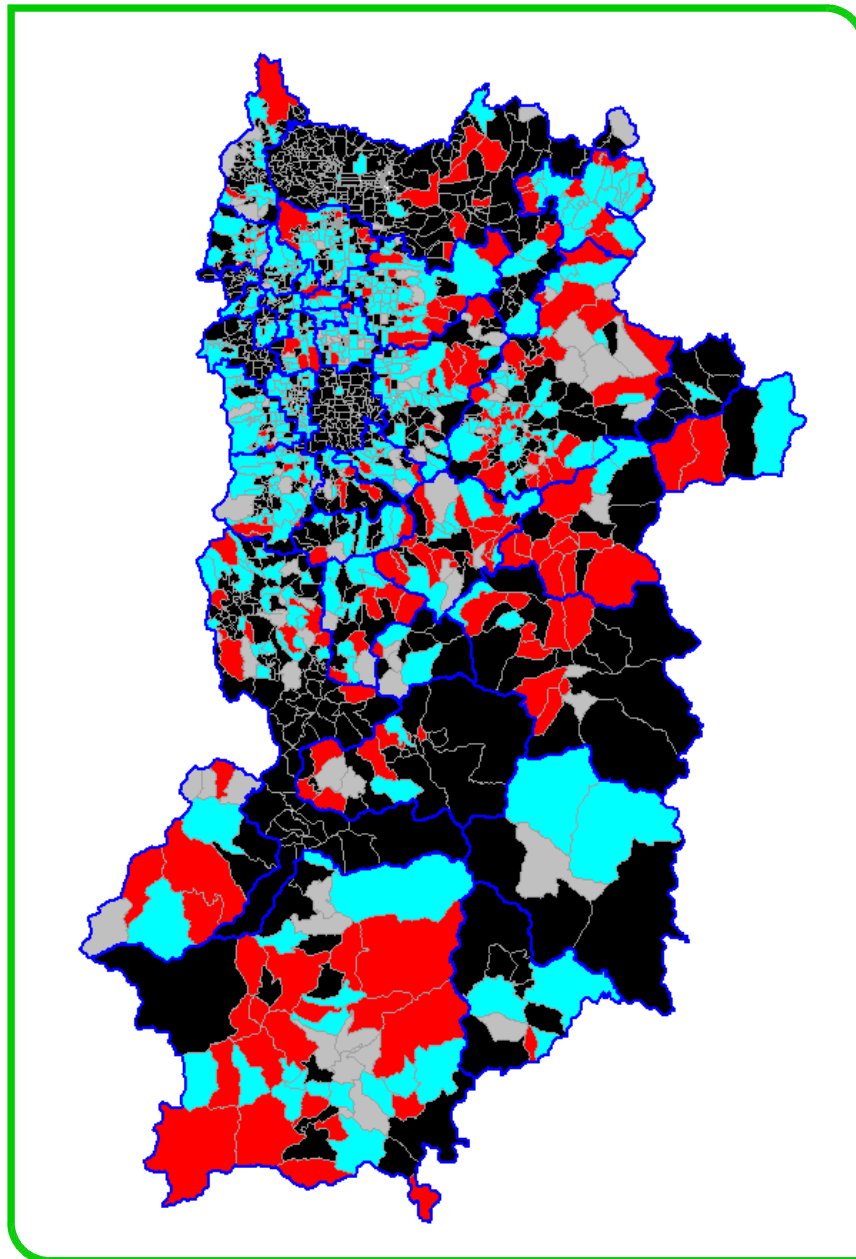


農業・林業集落アンケート調査によるハクビシンの生息状況・被害状況 (平成28年度)

1. 平成28年度の農業集落アンケート調査によるハクビシンの分布



左図は、平成28年度の農林業集落アンケート調査による、ハクビシンの分布である。

農業集落でハクビシンが「いる」と回答があった場合に「分布している」とする。回収無しには既に人が住んでいない集落も含まれている。

「いる」という回答数は、県北部から県南部まで、県内の広い範囲から「いる」との回答があった。

・平成28年度

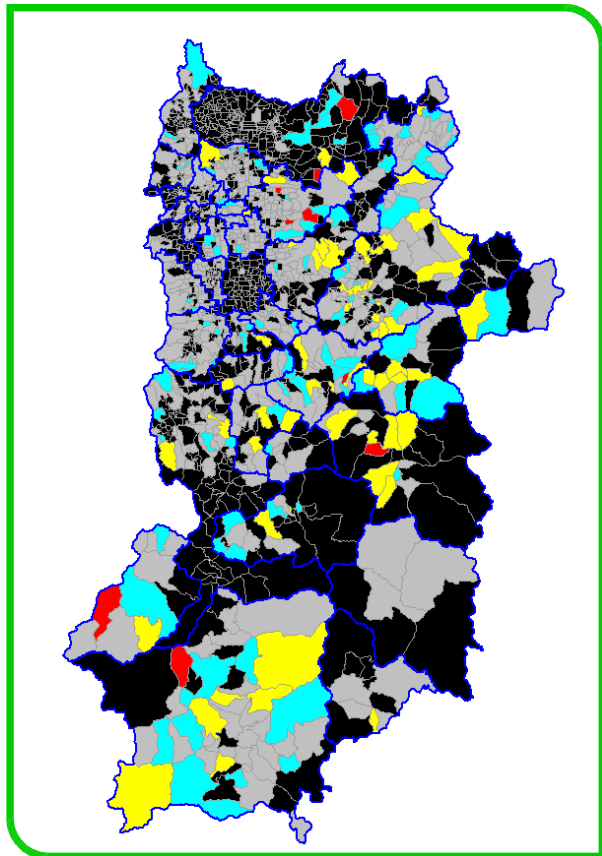
■ いる	188集落
■ いない	443集落
■ 回答無し	108集落
■ 回収無し	1069集落
全	1808集落

参考) 平成27年度

■ いる	134集落
■ いない	414集落
■ 回答無し	141集落
■ 回収無し	1119集落
全	1808集落

凡例 図中 青線 市町村界
市町村界内側の線 大字・地区界
 市町村界、大字・地区界の凡例は以降の図も同様である

2. ハクビシンの農地・集落周辺への出没状況(平成28年度)



左図は平成28年度の農業集落アンケートによる、ハクビシンの農地・集落周辺への出没状況である。

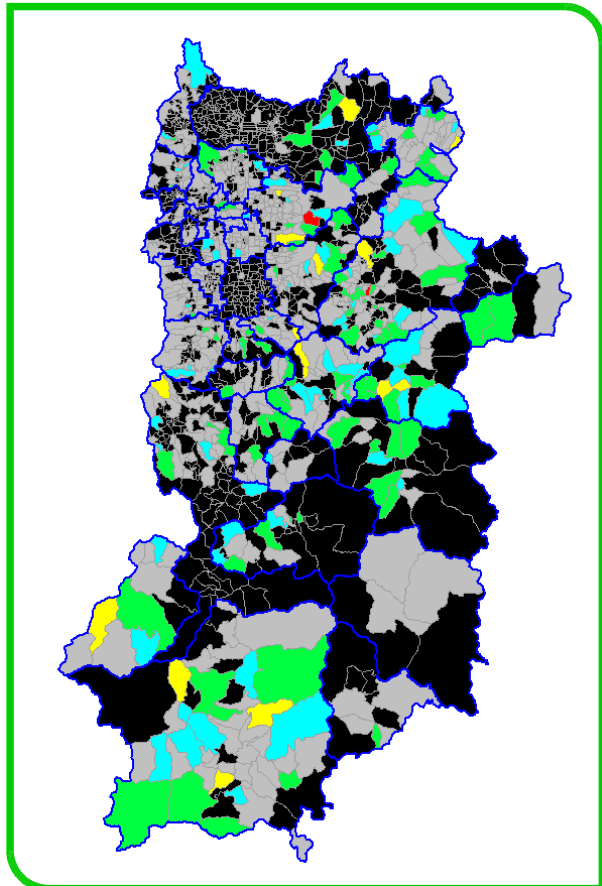
ハクビシンが「いる」と回答があり、かつ本設問の回答があった集落の内訳は下記の通りである。

回答数は少ないが、県北部から県南部までの広い地域から「よく見る」、「たまに見る」という回答がある。

平成28年度	
よく見る	9集落(5.3%)
たまに見る	62集落(36.5%)
あまり見ない	99集落(58.2%)
計	170集落

参考)平成27年度	
よく見る	6集落(5.5%)
たまに見る	43集落(39.5%)
あまり見ない	60集落(55.0%)
計	109集落

2. ハクビシンによる農業被害の大きさ(平成28年度)



左図は平成28年度の農業集落アンケートによる、農業被害の大きさの意識調査の結果である。

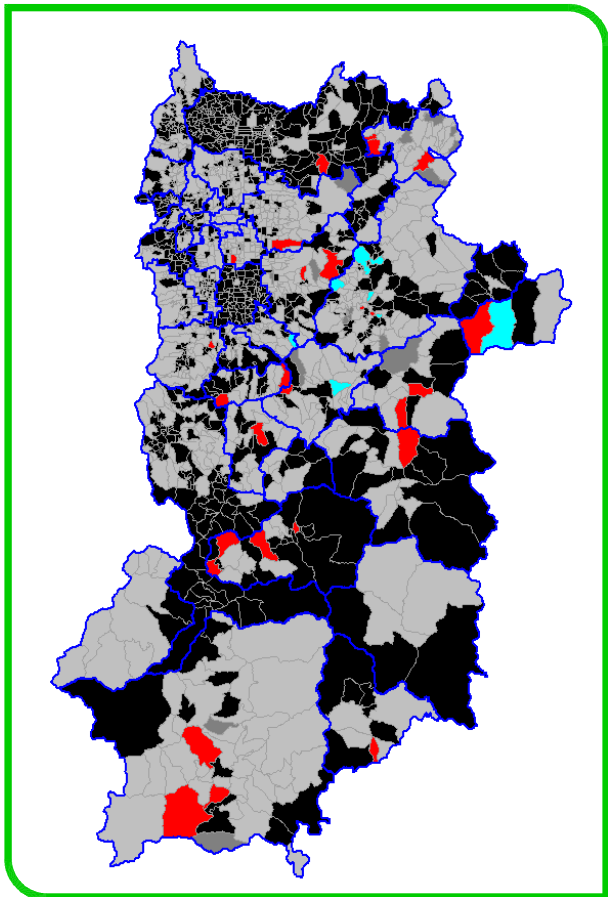
ハクビシンの被害は、県北部から県南部の広い地域から回答がある。

被害の大きさは、「軽微」という回答が最も多かった。

平成28年度	
ほとんど無い	66集落(37.5%)
軽微	94集落(53.4%)
大きい(生産量の30%未満)	14集落(8.0%)
深刻(生産量の30%以上)	2集落(1.1%)
計	176集落

参考)平成27年度	
ほとんど無い	53集落(42.7%)
軽微	66集落(53.2%)
大きい(生産量の30%未満)	4集落(3.2%)
深刻(生産量の30%以上)	1集落(0.8%)
計	124集落

4. ハクビシンの被害対策 侵入防止柵(防護柵)の設置の効果(農地・平成28年度)

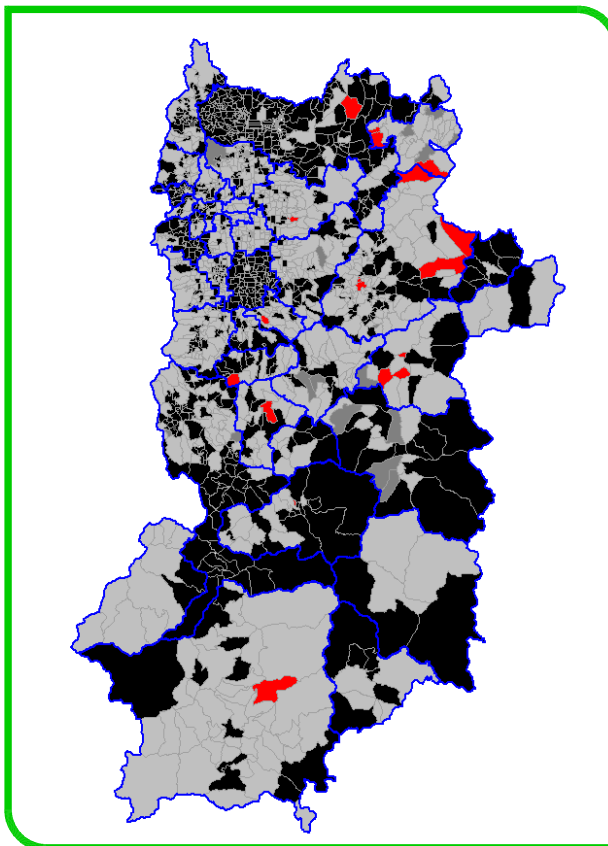


左図は平成28年度の農業集落アンケートによる、農業被害対策の、ハクビシン侵入防止柵(防護柵)の設置の効果の意識調査の結果である。

・平成28年度
 ■ 効果があった 26集落
 ■ 効果がなかった 8集落
 回答 34集落

参考)平成27年度
 ■ 効果があった 12集落
 ■ 効果がなかった 5集落
 回答 17集落

5. ハクビシンの被害対策 有害捕獲の効果(農地・平成28年度)



左図は平成28年度の農業集落アンケートによる、農業被害対策の、有害捕獲を実施した効果の意識調査の結果である。

・平成28年度
 ■ 効果があった 17集落
 ■ 効果がなかった 0集落
 回答数 17集落

参考)平成27年度
 ■ 効果があった 3集落
 ■ 効果がなかった 1集落
 回答数 4集落